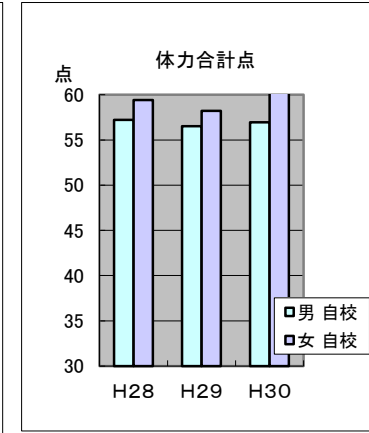
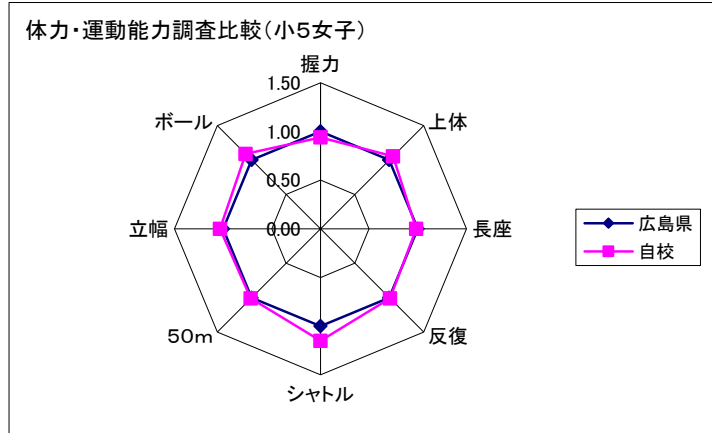
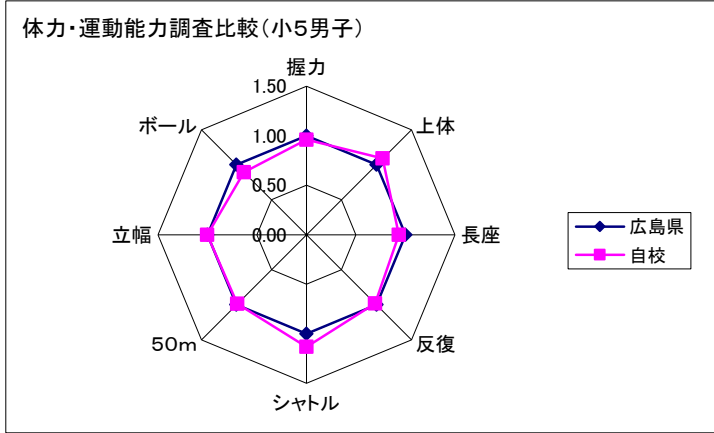


男子の体力合計点 学校 56.95点 県平均 56.96点

女子の体力合計点 学校 60.33点 県平均 58.54点



H30体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・昨年度の平均値と比較すると、ほとんどの学年で記録が伸びているが、県平均に及ばない学年が3学年あった。
 ・1学期の業間運動として、2分間おにごっこを新たに取り入れた。効果があまり表れていないため、改善の余地がある。

② 立ち幅とび(中学校区の課題種目)
 ・全ての学年で、県平均を上回る結果となった。
 ・業間運動のストレッチの中に、スクワット運動を取り入れ、跳ぶときの体の動かし方が身に付いてきていると考えられる。また、多くの児童が、休憩時間に縄跳びの練習をしたり、授業で積極的に縄跳び運動を取り入れていたりしているため、地面を蹴り上げる力が付いてきていると考えられる。

③ 握力(自校の課題種目)
 ・ほとんどの学年で、県平均を下回る結果となった。
 ・業間運動のストレッチの中に、自分の拳を握る運動を取り入れていたが、その他に前腕筋を使う運動を行う機会が少なかった。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・2分間おにごっこを実施する時期を延ばしたり、おにごっこの数を調整したりして、記録の向上を目指す。 ・いろいろな姿勢から素早く走る運動を、実施時期を決めて体育科の授業に取り入れる。 ・休憩時間に、50m走のタイムを計測する機会を設け、意欲を高める。
②中学校区の課題種目 (立ち幅とび)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・業間運動として、スクワット運動を継続して行う。(中学校区共通) ・定期的に記録を測定する機会を作り、さらなる記録の向上を図る。
③自校の課題種目 (握力)	具体的な取組内容 ・休憩時間に行っている2分間体力づくりの内容を改善し、グーパー運動を取り入れたり、体育科の授業のサーキット運動等の中に、ぶらさがる運動を取り入れる。 ・校舎内に、握力計を常時設置しておき、いつでも測れるような環境をつくり、意欲を高める。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)